

社説

漁業改良

我國の海産物は其筋の調査に依れば一個年の産出價額凡そ四千萬圓にして海外に輸出するもの凡そ五百萬圓に達し今後ますます有望なりと云ふ然るに漁業法の實際と如何と云ふに目下商工業が日々發達して進歩の著しきに比し其た遅緩の感なきを得ず試みに各地方に至りて漁業の有様を見るに沿海の漁民は何れも祖先傳來の漁法に依り片々素の如き漁具に乗りて獵に從事するの常なるが故に其漁り得たる魚類は船中に於て保存し又は仕上を爲すを得ざるのみか漁獲の多き折には船中漁獲を容るゝの餘量なきが爲めに中途にして陸に歸らざるを得ず又船體狭小にして食糧及び帆索等を十分に用意し難ければ長く洋中に在りて獲するを得ず折角魚類の群集せる場所を尋ねて見出したる以て食糧に乏しきを告げ已むを得ず船體を急ぎ等の不便あり土佐沖伊豆沖等に於て獲する船は船中の大なるものにて凡そ二間長八間船中三十人を容るゝに足るものありせども是れも甚だ不完全にして釣りたる魚を船中にて直に釣りにて又は鹽にする等總ての仕上を爲すに足らざるを得ず又獲りたる魚は往々腐敗を免れず或は是種の漁船中には船中にて釣し作るが爲めに魚肉を賣る者もあれば其賣方甚だ粗末にして既好なる魚は出来ずと云ふ右の如き次第にて我國の漁業を盛んにせんとするには先づ第一に漁船を改良せざる可らず西洋諸國にて使用する漁船は皆噸以上二百噸以下の風帆船にて船内には種々の室あり生活と營ふるには生洲の如きものあり魚を保存して腐敗等の憂なきらしむるには氷室あり鹽漬となし營ふるの室、油を製するの室等其種々の設けありて獲したる魚類は船中にて仕上を爲し得るのみならず食糧等々の用意も充分なれば長く洋中に在るも差支なく世界の海洋到處に漁業に従事するの常なり我が國の漁船も百噸乃至二百噸の風帆船を用ふるに至らざる間は到底營るべき改良は覺束なきことなれば第一に漁船として風帆船を使用せしむるの工風肝要なれば其使用に就ては既述を有する船長を始め機關手運轉手等種々の船員の必要あり斯る大任掛は今の洋々捕々の漁師の力にては速も速し難し處なれば實際に其改良は資本家の蓄積を待たざる可らず或は漁業は一種の冒險事業にして一朝不幸にして驟風の變に際會するときは船中と船員とを併せて海中の腐爛と爲さるを得ず幸至極なりなせ危ふむものも多けれども今の脆弱なる船中を以て海上に出づればるを斯る危險もあるもとなれども苟も改良の風帆船を以て從事するときは極めて安全にして憂も掛念するに足らず西洋諸國の例に倣して疑ふ可らざる所なり聞かば漁業は水産に熱心なる國澤明海氏は房州館山に於て一の西洋形風帆船を造り此種船中を進行したるよし我國にも風帆船を用ひ漁業に従事するは是れが始めてなること云ふ尙ほ其他にも同様の計畫を講ずるのありと云へば漁業の果して盛ん少くして利益多きの実例を世人に示す實政を講ずるべきは漁業の發展に在るものと云ふべきなり

○フイリツピン群島の軍備

フイリツピンの反亂未だ鎮定されざるに今又フイリツピン島に反旗起り殆も未だ門前の虎と謂はざるに後門狼の襲ふ所となりし有様にして南班牙政府の國事多難察すべし試みに從來同政府がフイリツピン群島に如何なる軍備を施し居たるやを示さんが爲め昨年度に於ける同島海陸軍備の一表を記すべし但し茲に於ける同島より彼の政府は改々フイリツピンの軍備擴張に注意したれどもフイリツピン反亂の爲め軍費多端にして未だ何が一を實行するを得ざるのみか其船中にもキユーパへ轉じたるものもある可きを以て或は多少左に記す所より減少せるやも固り難き先づ其大體を知るに足る可し借其

海軍 巡洋艦 運送船等 都合 三十艘 其の噸數 八萬二千九百九十九噸 (西班牙の噸は英國一噸の二分の一に相當す) と稱すれども甲艦艦として一隻もなし抑も此等は同群島及びマリアナ、ヤップ、ボナビ等太平洋群島の警備に充つるが爲め造くりしものなる上に近年本國政府の國庫困難の事情よりして修繕行届かざれば其耐用の足るは巡洋艦中マリアナクリスチーナ、カステリアの二艦に過ぎず又マリナ附近にはカピタ軍港あれども其船渠は漸く小艦艦を修繕するに足るのみにして其規模小に諸般の設備亦完からず多くは香港に運航して修繕するの常なれば船中の不整頓にして且つ老朽用ふるに足らざるは想像するに難からず然のみならず砲艦の如きも數を十三三われ何れも吃水淺き小砲艦にして戰艦に堪へざるは申す迄もなし是に由て昨秋マドリード内閣のフイリツピン國防委員會は呂宋のサンパレス州スピーック(我東京灣の浦賀に於ける如き地)に船渠を設けて軍港を爲す可しと議を決したれども是れ亦キユーパ反亂の爲め未だ着手の運びに至らず又海軍兵員は海上陸上勤務共に合せて總數二千五百乃至三千人あれども將校及び上級士官の外、水兵の過半数以上はフイリツピンの土民より成るものなれば其同胞の一朝反旗を擧すに方では制し易からざるも知る可し而してフイリツピンの海軍艦艇に上掲りし艦名及び其噸數を擧ぐれば左の如し

Table with columns for ship names, types, and tonnage. Includes ships like カステリア (Castellia), フイリツピン (Fiji), and others with their respective tonnage and types.

後女武者 わかば

沙魚は雪の如く瀧の如く、散りては波の亂るが如き潮を吐きかけて白き腹を現はし、磯の上なる夜叉若目懸けて、打寄する雄浪に乗りて躍りかたり、颯然として尾端をふるへば、偉大の全身躍り事羽箭の如く、突然に三郎丸を呑まんとするを、待ち構へたる身の早業體を揺りて進み進へば、沙魚は腹を乗り越えて、三尺の板方へ躍りしが、縁かに車輪を踏きて、再び黒鐵の如き鼻端を廻らし、此度こそは過さじと潮吐きかくるすまじと、三郎丸が命を懸け置はるる荒浪に身を任せ、宛然と浪に異ならねば、沙魚は浪に乗りて、其勢の猛くして、傘より廣き左右の鱗一度打てば、浪の腹に刺り、聯珠を断ちたらん如き浪の花は四方に散りて、額を向く可きもなし。

